

# 今時の若者が考えている こと

pixie373737

## 世の中の例え

---

「先輩のいう事に反論するな」小学生の頃から野球が好きで、中学では何も考えず楽しく野球漬けの日々を過ごした。そのチームは弱小だったけど、それなりに自分はできると思っていた私は、高校生になったら早くレギュラーになって、甲子園に出たいなあって思ってた。

そして、最強ではないがそれなりの戦力をもった学校に入る事ができた。

入学初日、野球部志願者たちは教室に集められた。そこに待ち合わせていたのは野球部の2年生たち。「こんにちわ〜」とそれぞれが挨拶をすると、ふざけんじゃねえ！！といきなり怒鳴られた。

「甘ったれてんなあ、調子にのってんじゃねえぞ！」

「すみません」

「すみませんじゃねんだよ。先輩からなんか言われたら、全部はい！って答えろ。」

「はい」

周りを囲んだ他の先輩方がニヤニヤ笑っている。

「口答えしたやつはどうなるかわかってんだろうな。ああ？」

「はい！！」

先輩方は笑いをこらえきれず爆笑し始めた・・・。

新入部員の中でも推薦組と呼ばれる人たちがいた。一般組はキャッチボールもさせてもらえなかったが、そいつらは先輩方と混じって既に練習を始めていた。一般組は何かを試される機会すらなかった。

一般組の中でも先輩方に気にいられて仲良くなった者もいた。

どうやって気にいられるのか？

たまに先輩方から一発芸をやれと言われる機会があった。推薦組はパスで通過、そこで可哀想なくらいバカなことやったやつは先輩方のお気に入りへ選抜。なんでしなきゃいけないの？と後ろで冷ややかな目をしていたやつらは、先輩方に気にいられた一般組からも疎外されるようになった。

私はボールをろくに触ることもなく、野球部を辞めた。

僕が言いたいことはさ、この話聞いてそれっておかしいよねって思ってるくせに、同じようなことやってる奴がいるって事なんだよ。

若者と呼ばれる人たちの価値観を否定したときに、人は若者でなくなるのだと思う。

---

若者の定義って15歳～39歳までらしいんだけど、僕が思うのは「若者と呼ばれる人たちの価値観を否定したときに、人は若者でなくなる」ってこと。

もし若者に対してこれからの時代を担っていく人たちって概念を抱えるならば。

だって年齢的に若者でも、若者の価値観を否定するやつっているもの。前章で述べた推薦組と先輩方に気にいられた一般組のような人たち。心に染みついているんだと思う。変な慣習に従うことが。

別に認めろって言ってるんじゃないわけ。あなたたちの価値観を押しつけないでと言ってるだけ。

人それぞれのそれがあるってこと知ってるのに、似たような価値観を共有してきた多数派の中で育った為に自分たちが正しいと思っている。

「本音で喋ろうよ」

「それじゃ上手くいかない事だっただよ、子供だなあ」

「しょうがないって思ってたならそれ癖になっちゃうよ？誤魔化すの？本音で喋ってよ。外の人に聞いてご覧よ。自分が正しいかなんて誰にも分からないんじゃないかな。関係の中で生きるこの世界で・・・」